

2021年度 滋賀医科大学入学者選抜方法の見直しに係る予告について（第4報）

1. 趣旨

本学の入学者選抜において、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針を踏まえた入学者受入れの方針に基づき、「学力の3要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価するものへと改善することを趣旨とし、各入試を以下のとおりとする。

2. 大学入学共通テスト

(1) 「一般選抜」（従来の一般入試）及び「学校推薦型選抜」（従来の推薦入試）においては、高等学校等における基礎的教科・科目についての幅広い基礎学力を測るため、従来と同様に、医学科においては5教科7科目を、看護学科においては5教科5科目又は6科目を課す。また、外国語（英語）については、全受験生にリスニングも課す。

(2) 外国語（英語）におけるリーディングとリスニングの配点については、医学科及び看護学科における「一般選抜」、「学校推薦型選抜」とともに、リーディングとリスニングの比率を4：1に換算して利用する。

3. 一般選抜

(1) 実施教科・科目については、従来と同様の教科・科目とする。

(2) 一般選抜における高度な記述式試験の実施については、各教科・科目において、自然科学分野における幅広い教養と深い知識、応用力とともに、理解力、読解力、語学力を測る作問や、理解力、思考力及び表現力など理論的に判断・推理を重ねて対象をとらえる力を測る作問に努める。

(3) 多面的、総合的な評価を実現するため、調査書や志願者本人の記載する資料、面接等を活用する。

4. 学校推薦型選抜

(1) 多面的、総合的な評価を実現するため、医学科においては小論文を課す。また、医学科・看護学科ともに、推薦書、調査書や志願理由書等の志願者本人の記載する資料、面接等を活用する。

(2) この入試区分の募集人員については、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するねらいを踏まえ、各学科・募集単位の事情に応じて適切に判断する。

以上